

7月31日（月）

1871フィンテックセミナー

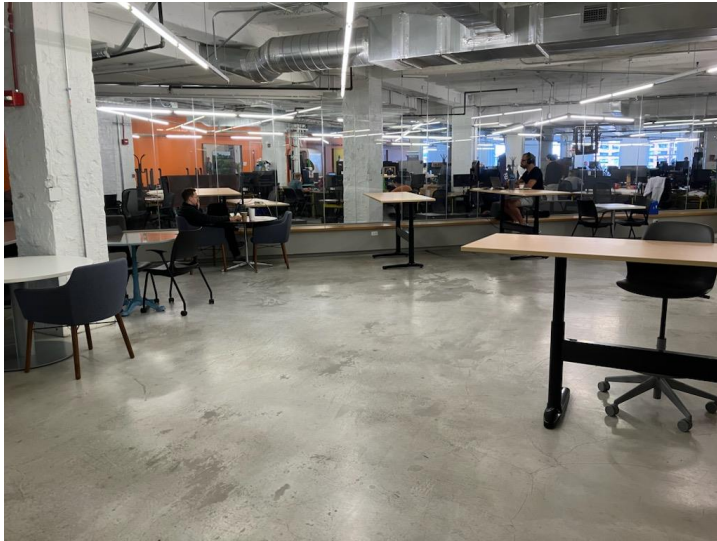
マーチャンダイズマート内にある「1871」は、2012年にシカゴのデジタルスタートアップを支援するために設立されたインキュベーション施設であり、設立パートナーにはイリノイ州知事も名を連ね、スタートアップの成長促進とシカゴ都市圏の雇用創出に取り組んでいる。約500のスタートアップが入居し、4つのベンチャーキャピタルが本部を置き、350以上の投資家とのつながりを持っている。シカゴ大学、イリノイ大学、イリノイ工科大学など7つの大学も拠点を置いており、事業収益、助成金、寄附などにより運営されている。

スタートアップ等を支援するため、多くのアクセラレーションプログラムや年間1,000を超えるイベントが開催されている。また、学生を対象にデザイン、サイバーセキュリティ等に関するプログラムが実施されている。

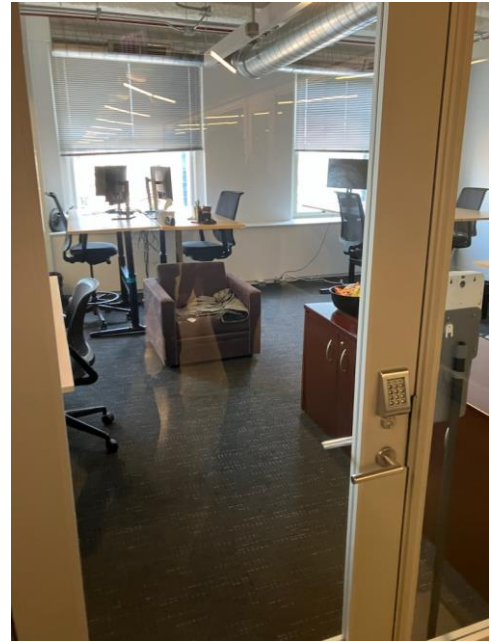
フィンテックセミナーに先立ち、1871内を視察した。



1871内で説明を聴取する様子



1871内の打ち合わせスペース



【質疑応答】

- ・ 1871に入居するための費用は。

⇒月額350ドルで全てのサービスを利用することができ、一部のサービスが利用可能な月額175ドルのプランもある。また、コロナを契機に、バーチャル会員制度（オンラインでのサービス利用）も開始した。なお、気に入らなければいつでも中止することも可能である。

- ・ 相談体制はどうなっているか。

⇒300人以上の専門家がいる。1871の理念に共感してくれていることもあり、メンターとしての役割が無償で行われている。

1871内の視察後、フィンテックセミナーを開催し、フィンテック企業等に対して大阪市の経済ポテンシャルや国際金融都市等の取り組みについてプロモーションを行った。冒頭、主催者を代表して1871のエリザベス・ツィーグラークCEOから開会挨拶があり、その後、横山市長が挨拶を行った。



ツィーグラーク
CEOの挨拶

【横山市長 挨拶要旨】

本日は、大阪市とシカゴ市の姉妹都市提携50周年を祝うとともに、今後大阪市とシカゴ市のより一層の経済交流をめざして、1871のツィーグラーCEOや関係の皆様のお力添えをいただき、このような場を設けていただき感謝している。

1871と大阪市のスタートアップ支援組織である大阪イノベーションハブは姉妹都市45周年にあたる2018年に覚書を締結し、相互の協力関係を築いてきた。

スタートアップからも注目されるフィンテックだが、ここシカゴは、金融先物取引で非常に有名である。

本日は大阪市の国際金融都市の取り組みについて御紹介する。大阪におけるビジネスチャンスの皆様を知っていただきたい。是非大阪にお越しいただき、チャレンジいただくことをお待ちしている。



横山市長の挨拶

挨拶の後、横山市長により、大阪市の国際金融都市等に対する取り組みについてのプレゼンテーションを行い、セミナー参加者との質疑応答があった。



壇上のツィーグラーCEOと横山市長



セミナー時の様子

【質疑応答】

- ・万博やI Rについてはどのように進めていくのか。

⇒夢洲というエリアで万博とI Rを行う。

万博は2025年、I Rはおそらく2030年になる。同時に工事が進んでおり、今後、大きな経済の流れができてくるこ



セミナー参加者との質疑応答の様子

とになる。多くの観光客やビジネスパーソンに訪れていただき、夢洲やI Rを起点として、ビジネスのチャンスを見つけていただきたい。

- ・空飛ぶクルマについて詳しく教えてほしい。

⇒万博で空飛ぶクルマを体験いただけるよう、現在、飛行場の設置を進めている。

万博で新しい移動の姿を感じていただきたい。いずれ、この辺りを空飛ぶクルマが飛ぶことになるかもしれない。

- ・大阪におけるベンチャー企業向けの取り組みはどのような状況か。

⇒まず、本日1871を訪問し、本当に感動した。大阪でもベンチャー企業の育成、スタートアップへのフォローを行っているが、シカゴは規模が大きいと感じた。スタートアップ企業を社会全体で育てていこうという風土については、日本はアメリカにかなわない。ただ、この10年で動きも出てきており、10年前に始めたスタートアップ企業がネットワークを組み、次のステージに移りつつある。彼らは、今が投資のチャンスだと言ってくれている。大阪市としてもしっかりサポートしていく。

- ・子育て施策について、どのように考えているのか。

⇒日本では人口減少が深刻であり、このままでは国家のシステムが持たないと危惧されている。子どもを育てるために経済的な負担がかかるという理由から、子どもを持たない人が増えている。大阪は、徹底して教育を無償化するという方向に舵を切った。国や大阪の未来のために、徹底的に無償化を進めていきたい。



ツィーグラーCEOを囲んで

リバークルーズ（河川を活用したまちづくり）

シカゴ姉妹都市インターナショナル大阪委員会の案内により、シカゴ川を巡るクルーズ船上から河川を活用したまちづくりについて視察を行った。



乗船者でにぎわうクルーズ船



船上からのまちなみ

シカゴ川沿岸には、1871も入居しているマーチャンダイズマートやトランプタワー、オペラハウスなど、さまざまなデザインの建築物があり、河川を利用した独自のまちなみを形成している。

本市と比べて規制緩和が進んでいるのか、河川を行き交う船が多く、平日にも関わらず観光客でにぎわっている。また、大阪市においても川沿いの観光開発を進めているものの、シカゴ川には大阪よりも多くの観光客が訪れており、河川を行き交う船が非常に多い。また、シカゴ川沿いに整備されたリバーウォークについても非常に賑わっている。大阪の道頓堀にもリバーウォークがあるが、シカゴほどの賑わいはなく、大阪の河川と水資源をさらに有効活用できれば、観光客も増え、経済成長の糧にできる可能性があり、シカゴ市に見習うべきことが多い。

シカゴ美術館視察

シカゴ美術館は、1879年に開館し、ニューヨークのメトロポリタン美術館、ボストン市にあるボストン美術館とともにアメリカの三大美術館の1つに数えられている。

年間約150万人が訪れ、印象派やアメリカ美術など30万点以上の収蔵作品が8つの建物に展示、保存されている。美術館本館は1893年のシカゴ万博の際に建設され、そ

の後数度にわたり増築が行われた。このうち、膨大な収蔵作品を誇る日本ギャラリーは安藤忠雄氏の設計により1992年に完成した。

年間を通して特別展やレクチャー、パフォーマンス、ギャラリートークなどのイベントが開催されており、建築都市シカゴを代表する格式高い建築物としての特徴もある。

美術館関係者に迎えられ、挨拶の後、館内を巡りながら、ジョルジュ・スーラの『グランド・ジャット島の日曜日の午後』など様々なコレクションについて説明を受けた。



美術館関係者と

在シカゴ日本国総領事主催意見交換

在シカゴ日本国総領事公邸において、田島浩志在シカゴ日本国総領事主催のもと、ローラ・ファイン州上院議員夫妻、ジョシナ・モリタ・クック郡評議会委員夫妻、マイケル・ファスナート・ワールドビジネスシカゴ代表兼CEO、エイドリアン・トンゲート同特別副総裁（グローバル戦略イニシャティブ担当）、名嘉君代シカゴ姉妹都市インターナショナル大阪委員会委員長、野毛洋子同前委員長など、シカゴ市関係者及び姉妹都市インターナショナル関係者との意見交換を行った。

冒頭、田島総領事より歓迎のご挨拶をいただき、続いて横山市長、片山市会議長からそれぞれ挨拶を行った。



田島総領事の挨拶

【横山市長 挨拶要旨】

田島浩志総領事ならびに総領事館の皆様には、大阪市とシカゴ市の姉妹都市交流推進に際し、常日頃から温かい御支援をいただき、また、本日は総領事公邸にお招きいただき感謝申し上げます。

大阪市とシカゴ市は、1973年11月9日にパートナー都市提携し、経済・スポーツ・文化・社会福祉など幅広い分野で交流を重ね、本年提携50周年を迎えた。



横山市長の挨拶

とりわけ田島総領事にはこれまでオンライン経済セミナーでのご挨拶など、大阪市とシカゴ市との姉妹都市交流にご協力を頂いている事に心よりお礼申し上げます。

この度、姉妹都市提携50周年を記念して、大阪市会代表団とここシカゴを訪問させていただいた。今回の訪問では、両市のさらなる連携、交流の強化に向け両市の絆を強化する宣言への署名等を行うとともに、国際金融都市の実現に向けた取り組みなど、大阪でのビジネス展開についてビジネスパーソンなどに対してプロモーションを行っている。

さらに11月には、シカゴ代表団を大阪にお迎えする予定である。姉妹都市提携50周年という記念の年に相互の交流を図ることができ、今後より一層両市の絆が強固となることを期待している。

【片山市会議長 挨拶要旨】

田島総領事ならびに総領事館の皆様方におかれては、日頃から大阪市とシカゴ市の姉妹都市交流推進にご協力を賜り感謝申し上げます。姉妹都市提携50周年記念事業に向けてご協力いただいたこと、また、本日こういった場を設けていただいたことに、厚くお礼申し上げます。

このたび、こうして田島総領事ならびに本日ご出席の皆様にお会いできたことを大変嬉しく思っている。

大阪市とシカゴ市が、1973年にパートナー都市提携を行って以来、経済、文化、学術などあらゆる分野で交流が深まっていることを感じている。

両市の50年間にわたる交流をさらに緊密なものとし、友好関係をより一層発展させるためにも、本日ご出席の皆様方のお力添えが必要であるので、何卒よろしくお願い申し上げます。



片山議長の挨拶

2025年には大阪・関西万博が開催される。

ぜひ、シカゴの皆様にも大阪にお越しいただき、活力あふれるその姿を目の当たりにしていただければと存じる。大阪で再びお会いできることを楽しみにしている。

挨拶の後、ジョシナ・モリタ・クック郡評議会委員から横山市長に対し、大阪市長一行のシカゴ来訪を歓迎するとともに両市の姉妹都市提携50周年を祝うクック郡評議会宣言文が手交された。その後、本年5月に就任したジョンソン・シカゴ市長の政策や大阪市との共通点、河川遊歩道の整備を通じた都市開発、水資源管理に関する協力などについて意見交換を行った。



クック郡評議会宣言文の手交

【意見交換】

- ・シカゴでは地域によって、住民が通勤するための十分な交通システムがあるとは言えず、公共交通の充実が課題である。公共交通システムを、ロンドン、東京、シンガポール並みにしないとシカゴは世界水準の都市にはなれない。機会に恵まれない若者に仕事を与えることにより、経済を発展していくことがジョンソン市長の経済政策の柱であり、これまでの市長の政策とは大きく異なる点である。

⇒大阪市も地域によっては20%を超える住民が生活保護を受給しているところもある。税金を投入し、住居のない方に住む場所を提供したり、防犯カメラを設置して安全を確保するなどの施策を行っている。また、教育の無償化を推進しており、子育てがしやすい安全な環境、安全に仕事に行ける環境を作ることが市の発展にとって重要であると考えている。

- ・シカゴ川のリバーウォークの整備は当時市長だったエマニュエル氏が特に注力した施策である。その施策は主に3点からなるもので、川の水質を向上させること、船を行き交わせ水運を活性化すること、川沿いの遊歩道を設置し飲食店等商業施設を呼び込み、地元民と観光客が楽しめる場所とすることである。

⇒大阪市も、観光振興の観点から河川の水質浄化やリバーウォークの整備に取り組んでいる。道頓堀の両岸に1 km程度の遊歩道を整備しており、ライトアップも行っている。シカゴ市のリバーウォークとの違いは、船の交通が一方通行となっていて行き交う船がないことである。理由は、大阪は橋が多いが地盤沈下で橋が下がり、水面との間が狭くなって通れる船が少ないためである。これに対処するため、橋の下を通過するときだけ船の高さを下げられる船を作っており、今後、観光に生かしていきたい。

- ・大阪市は水源地から離れていることもあり、水質管理を重視している。また、大阪市は水害が多く発生してきたので、安全のため住人は川から離れた場所に居住してきた。最近になって護岸が整備され法改正が行われたことにより、川から近いところに住宅を建設することができるようになった。今後商業施設等を整備し、経済の活性化につなげられると考えている。また、シカゴは緑が美しい。公園整備を見習いたい。

⇒シカゴにはミシガン湖という豊富な水源があるため、シカゴ市民は、用途別に水を管理することをしない。つまり、飲料水レベルに処理された水がトイレの洗浄や工業用にも使われており、必要以上に水処理量が増える結果となっている。水質向上については、赤外線等異なる処理を3段階に分けて行って浄水している。また、人工漁礁、水車等、水質を改善しつつ目で見え楽しめる設備を導入したりもしている。これらの水資源管理に関する知見を共有することはできるので、シカゴから大阪に戻った後も、専門家同士でビデオ会議を行うなどして意見交換をすることも可能である。

- ・シカゴ市内を視察しての疑問点だが、無電柱化はどのように進めたのか。

⇒シカゴのダウンタウンでは電柱は見かけないが、シカゴでも郊外では無電柱化は進んでいない。なお、イリノイ州の電力供給の52%が原発由来である。人口が増加するテキサス州では、太陽光や風力などの再生可能エネルギーへの依存度を高めた結果、特に夏の暑い時期などは気象条件によって電力供給が不安定化していると聞くが、イリノイ州では電力は安定供給されている。

- ・シカゴ市ではレンタルサイクルが普及しているようだが詳しく教えてほしい。また、日本のようなコインパーキングを見かけないがなぜか。

⇒レンタルサイクルについては、エマニュエル市長時代に民間に委託して開始された。太陽光で充電される自転車は人気があるが、事業としては未だ黒字化されていない。

パーキングについては、シカゴには公営の駐車場もあるが、道路の路肩に設置されたパーキングメーターが普及している。デイリー市長の時代に「100年の取引」といって、大変な議論の末に民営化された。当該民間企業は、パーキングメーターの所有権を取得して以来、11億5,000万ドルの投資を回収し、さらに利益を計上しており、この契約は数十年にわたるものであるため、収益性はほぼ保証されている。しかし、もし民営化していなければ、この利益はシカゴ市に入ってくるはずであったので、この点は残念だ。



意見交換の出席者一同